

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 笑みの里

作成日: 平成 28年 12月 30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防などの立ち会いのもと、より実践的な訓練を行うとともに、相模原市の事件を受け、災害だけではなく、不審者に対する防犯訓練も実施していく必要がある。また、多くの職員が訓練に参加できるよう引き続き配慮が必要。	消防立ち会いのもと、専門的な視点からの助言を受け、より実践的な訓練を行うことができる。 防犯訓練を実施することにより、防犯に対するスキルを身につけることができる。	消防立ち会いのもと訓練を行い、専門的視点から助言を受ける。 不審者を想定とした防犯訓練の実施。 同じ内容の訓練を複数回実施し、より多くの職員が参加できるようにする。	12ヶ月
2	23・36	長年ご利用者と共に生活を送るなかで、馴れあいになってしまい、目上に対する尊敬の念を忘れてしまっていたり、ご利用者の思いをおろそかにしてしまい、職員の都合を優先してしまう場面も見受けられる。	内部研修などを通じて、いまいちど当施設の理念・ご利用者の尊厳について振り返りを行うことで、全スタッフが統一した意識で、敬意をもってご利用者に接することができる。	当施設の理念について職員間で振り返りの場を設ける。 内部研修などを通じて、職員間で知識を深めるとともに意識の統一を図る。	12ヶ月
3	34	定期的に内部研修などを通じて急変時の対応などについての勉強会を行っているが、引き続き職員全体の知識・スキルアップ向上のための勉強会などの開催を行っていくことが必要。	全スタッフが基本的な医療知識を習得するとともに急変や事故発生時に的確な初期対応をとることができる。	看護師による勉強会の実施。 感染症などに対する実技勉強会の開催。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。